

平成 22 年度 魚津市事務事業評価表 (平成 21 年度分に係る評価)

【1枚目】

事業コード	12133101	
事務事業名	栽培増殖振興対策事業	
予算書の事業名	1.栽培増殖振興対策事業	
事業期間	開始年度	昭和43年度
	終了年度	当面継続
	業務分類	5. ソフト事業
実施方法	<input type="radio"/> 1. 指定管理者代行 <input type="radio"/> 2. アウトソーシング <input checked="" type="radio"/> 3. 負担金・補助金 <input checked="" type="radio"/> 4. 市直営	

部・課・係名等	コード1	03020300
部名等	産業建設部	
課名等	農林水産課	
係名等	水産振興係	
記入者氏名	楢谷文彦	
電話番号	0765-23-1033	

政策体系上の位置付け	コード2	121331
政策の柱	第1章 明日を築く活力あるまち	
政策名	第2節 地域の特性を生かした農林水産業の振興	
施策名	1. 生産基盤・経営基盤の強化・改善	
区分	Ⅲ-3. 水産業(資源)	
基本事業名	資源管理型漁業の育成、推進	

予算科目	コード3	001060402
会計	一般会計	
款	6. 農林水産業費	
項	4. 水産業費	
目	2. 水産振興費	

◆事業概要(どのような事業か)									
水産資源の維持と増大のため種苗の育成や放流等を推進する事により漁業を振興させ、将来的な漁業安定化のため資源管理型の漁業を実現させる。現在、アワビ、マダイ、クロダイ、ヒラメ等の放流を地元漁協の放流事業への助成や市の直接種苗購入の形で行っている。また、これら放流の一方で漁場環境の調査と評価を行い、将来的な当事業のさらなる効率化も模索している。		単位	実績		計画				
			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度		
対象	(この事務事業は、誰、何を対象にしているのか。※人や物、自然資源など) 水産資源	対象指標	① 漁獲量(ヒラメで代表)	トン	33	31	38	38	38
			②						
			③						
手段	<平成21年度の主な活動内容> 種苗(アワビ、サザエ、クロダイ、ヒラメ、クルマエビ等)の放流。種苗(ヒラメ、クロダイ)の中間育成。また、漁場の環境作りのための人工漁礁設置。漁場調査。	活動指標	① 放流及び中間育成金額	千円	1,950	1,950	1,950	1,950	1,950
	*平成22年度の変更点 人口魚礁設置費及び漁場調査費用は、環境・生態系保存対策事業に移管		②						
			③						
意図	(この事務事業によって、対象をどのように変えるのか) 沿岸漁業資源の減少に歯止めをかけ、さらには資源量の増大を図る。	成果指標	① 総漁獲量の推移	トン	2,711	2,721	3,200	3,200	3,200
			②						
			③						
その結果	<施策の目指すがた> 沿岸漁業における水揚量の安定化と漁作業の軽減化、さらには漁獲努力の調整による魚価の向上により、漁業経営そのものが安定化する。また、消費者にも新鮮な水産物の安定供給が可能となる。	↑成果指標が現段階で取得できていない場合、その取得方法を記入							
◆この事務事業開始のきっかけ(何年頃)からどのようなきっかけで始まったか) 漁獲強度による水産資源の減少が懸念され、将来へ向けた資源の恒久利用対策が必要とされたため、昭和43年頃から開始。		財源内訳	(1)国・県支出金(千円)	0	0	0	0	0	
			(2)地方債(千円)	0	0	0	0		
			(3)その他(使用料・手数料等)(千円)	0	0	0	0		
			(4)一般財源(千円)	4,000	2,400	1,950	1,950	1,950	
			A. 予算(決算)額(①~④の合計)(千円)	4,000	2,400	1,950	1,950	1,950	
◆開始時期以後の事務事業を取り巻く環境の変化と、今後予想される環境変化(法改正、規制緩和、社会情勢の変化など) 近年、特に漁業資源の減少が問題視されるようになった。加えて、安価な輸入畜産物が出回り、食生活でのさかな消費が減少し、魚価の低迷が続いている。			①事務事業に携わる正規職員数(人)	2	2	3	3	3	
			②事務事業の年間所要時間(時間)	200	200	240	240	240	
			B. 人件費(②×人件費単価/千円)(千円)	841	841	1,009	1,009	1,009	
			事務事業に係る総費用(A+B)(千円)	4,841	3,241	2,959	2,959	2,959	
			(参考)人件費単価(円/時間)	4,205	4,205	4,205	4,205	4,205	
◆市民や議会などからの要望・意見(担当者の私見ではなく、実際に寄せられた意見・質問などを記入) 漁業者からは、放流量の増加を含め、資源増大のための施策が望まれている。		◆県内他市の実施状況	(把握している内容又は把握していない理由の記入欄)						
		● 把握している	放流種苗の種類や数量は実施主体の事情で異なるが、基本的には他市町でも実施されている。						
		○ 把握していない							

平成 22 年度 魚津市事務事業評価表 (平成 21 年度分に係る評価)

【2枚目】

【目的妥当性の評価】

1. 施策への直結度 (事務事業の施策の目指すがたに対する直結度 (対象・意図の密接度) とその理由説明)	
<input checked="" type="radio"/> 直結度大 <input type="radio"/> 直結度中 <input type="radio"/> 直結度小	説明 当事業は、まさに政策そのものである。
2. 市の関与の妥当性 (民間や他の機関でも実施可能な事務事業か)	
<input type="radio"/> 法令などにより市による実施が義務付けられている <input type="radio"/> 法令などによる義務付けはないが、公共性が非常に高く、民間 (市民・企業等) によるサービスの実施が不可能 (又は困難) ため、市による実施が妥当 <input checked="" type="radio"/> 民間でもサービス提供は可能だが、公共性が比較的高く、市による実施が妥当 <input type="radio"/> 市が実施しているが、関与の必要性は低く、今後は市の関与を縮小 (廃止) が妥当 <input type="radio"/> 既に目的を達成しているため、市の関与を廃止が妥当	
根拠法令等を記入	
3. 目的見直しの余地 (現状の【対象】と【意図】は適切か、また、見直す場合、その理由と内容を説明)	
なし	説明 現状の対象と意図は適切であり、見直しの余地なし。

【有効性の評価】

4. 成果向上の余地 (成果の向上が今後どの程度見込めるか説明)	
あり	説明 早急な結果は得にくいですが、地道な継続が必要。また、漁業関係者等の栽培漁業に対する理解度を高めることにより、成果は向上。
5. 連携することで、今より効果が高まる可能性のある他の事務事業の有無 (どう効果が高まるか説明)	
なし	説明 21年度からの環境・生態系保全対策事業と連携していく必要がある。

【効率性の評価】

6. 事業費の削減の余地 (手段を工夫することで、事業費を削減できないか説明、できない理由も説明)	
なし	説明 種苗の育成には費用が伴うため、事業費の削減は放流量の減少を意味する。しかしながら、科学的判断に基づく効率化は必要。
7. 人件費の削減の余地 (今の業務時間を工夫して少なくできないか説明、できない理由も説明)	
なし	説明 基本的に生き物を対象としているため、諸々の人件費は必要。

【公平性の評価】

8. 受益者負担の適正化の余地 (過去の見直しや社会経済状況等から)	
特定受益者なし・負担なし 適正化の余地なし	説明 魚津漁協、県農林水産公社から負担もしてもらいながら実施している。
9. 本市の受益者負担の水準 (県内他市と比較し、今後のあり方について説明)	
<input type="radio"/> 高い <input checked="" type="radio"/> 平均 <input type="radio"/> 低い	説明 他市町との連携強化が必要。

【必要性の評価】

10. 社会的ニーズ (この事務事業にどれくらいのニーズがあるか)	
<input checked="" type="radio"/> 全国的又は広域的な課題であり、ニーズが非常に高い <input type="radio"/> 市固有の課題であり、なおかつ市民などのニーズが非常に高い <input type="radio"/> 比較的多くの市民などがニーズを感じている <input type="radio"/> 一部の市民などに、ニーズがある <input type="radio"/> 一部の市民などに、ニーズがあるが、それが減少しつつある <input type="radio"/> 目的はある程度達成されている <input type="radio"/> 上記のいずれにも該当しない	
11. 事務事業実施の緊急性	
<input checked="" type="radio"/> 緊急性が非常に高い <input type="radio"/> 緊急に解決しなければ重大な過失をもたらす <input type="radio"/> 市民などのニーズが急速に高まっている <input type="radio"/> 緊急性は低いですが、実施しなければ市民生活に影響が大きい <input type="radio"/> 緊急性が低く、実施しなくても市民サービスは低下しない	

★ 評価結果の総括と今後の方向性

1) 評価結果の総括	
① 目的妥当性	<input checked="" type="radio"/> 適切 <input type="radio"/> 目的廃止又は再設定の余地あり
② 有効性	<input type="radio"/> 適切 <input checked="" type="radio"/> 成果向上の余地あり
③ 効率性	<input checked="" type="radio"/> 適切 <input type="radio"/> コスト削減の余地あり
④ 公平性	<input checked="" type="radio"/> 適切 <input type="radio"/> 受益者負担の適正化の余地あり
2) 今後の事務事業の方向性	
<input type="radio"/> 現状のまま (又は計画どおり) 継続実施	
<input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止	
<input type="radio"/> 他の事務事業と統合又は連携	
<input type="radio"/> 目的見直し	
<input checked="" type="radio"/> 事務事業のやり方改善	

★ 改革・改善案 (いつ、どのような改革・改善を、どういう手段で行うか)		コストと成果の方向性
実施予定時期	次年度 (平成23年度)	現状を維持しつつ、今後のあり方を検討。 コストの方向性 維持
	中・長期的 (3~5年間)	当事業を維持しつつ、資源管理型漁業の具体化策を前進させ、事業を充実させる。 成果の方向性 向上

★ 課長総括評価 (一次評価)

漁業経営の安定、水産資源の確保には、栽培養殖事業は不可欠である。事業効果の検証には難しいものがあるが、20年度からヒラメの漁獲量が増加しており、また本事業を実施していなければ資源量の減少につながっていたことも考えられる。また、20年度の人工漁礁の設置や21年度の環境・生態系保全対策事業との相乗効果を図っていく必要がある。	二次評価の要否 不要
---	---------------

平成 22 年度 魚津市事務事業評価表 (平成 21 年度分に係る評価)

【1枚目】

事業コード	12122102	
事務事業名	環境・生態系保全事業	
予算書の事業名	11. 環境生態系保全事業	
事業期間	開始年度	平成21年度
	終了年度	平成25年度
	業務分類	4. 負担金・補助金
実施方法	<input type="radio"/> 1. 指定管理者代行 <input type="radio"/> 2. アウトソーシング <input checked="" type="radio"/> 3. 負担金・補助金 <input type="radio"/> 4. 市直営	

部・課・係名等	コード1	03020300
部名等	産業建設部	
課名等	農林水産課	
係名等	水産振興係	
記入者氏名	楢谷文彦	
電話番号	0765-23-1033	

政策体系上の位置付け	コード2	121331
政策の柱	第1章 明日を築く活力あるまち	
政策名	第2節 地域の特性を生かした農林水産業の振興	
施策名	1. 生産基盤・経営基盤の強化・改善	
区分	Ⅲ-3. 水産業(資源)	
基本事業名	資源管理型漁業の育成、推進	

予算科目	コード3	001060402
会計	一般会計	
款	6. 農林水産業費	
項	4. 水産業費	
目	2. 水産振興費	

	◆事業概要 (どのような事業か)	単位	実績		計画				
			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度		
対象	(この事務事業は、誰、何を対象にしているのか。※人や物、自然資源など) 魚津市沿岸の藻場(魚津港北地区から経田漁港を対象)	→ 対象指標	① 活動海域の面積	ha	0	25	25	25	25
手段	<平成21年度の主な活動内容> 保全活動の支持母体となる魚津市漁場環境・生態系保全対策協議会の運営及び活動グループ(魚津市漁場環境保全会)の活動に対する指導。 *平成22年度の変更点 なし	→ 活動指標	① 活動面積	m <sup>2</sup>	0	5	5	5	5
意図	(この事務事業によって、対象をどのように変えるのか) 対象海域の藻場を復元し増大させる。	→ 成果指標	① 藻場の増大面積	m <sup>2</sup>	0.00	0.00	15,000.00	20,000.00	30,000.00
その結果	<施策の目指すすがた> 稚仔魚を育む藻場の造成による沿岸漁業資源の増大。		↑ 成果指標が現段階で取得できていない場合、その取得方法を記入						
	◆この事務事業開始のきっかけ(何年頃)からどのようなきっかけで始まったか) 魚津市沿岸の藻場造成の重要性に鑑み平成20年度より市単で人工魚礁設置事業を行って来た中、国では環境・生態系保全活動支援交付金交付要綱が制定され、当該活動支援事業等に係る事業に要する経費に対し交付金が交付される事となった。そのため、市単よりも有利な国の制度に事業移行し続行させる。	財源内訳	(1)国・県支出金 (千円)	0	200	200	200	200	
			(2)地方債 (千円)	0	0	0	0	0	
			(3)その他(使用料・手数料等) (千円)	0	0	0	0	0	
			(4)一般財源 (千円)	0	1,100	1,935	1,960	1,935	
			A. 予算(決算)額(①~④の合計) (千円)	0	1,300	2,135	2,160	2,135	
	◆開始時期以後の事務事業を取り巻く環境の変化と、今後予想される環境変化(法改正、規制緩和、社会情勢の変化など) 沿岸域での藻場の衰退は全国的な問題であり、これまで国家的にも原因究明等を行って来た。また、藻場の維持や復元のための活動に対しても、現在交付金による支援が国家的にも開始された。沿岸の藻場はそれ自体再生産可能な資源であり、自然界そのものも大きな復元力を有しているため、最新の科学的知見を入手しつつ本事業を展開すれば、必ず効果は現れると思われる。		①事務事業に携わる正規職員数 (人)	0	2	3	3	3	
			②事務事業の年間所要時間 (時間)	0	320	720	720	720	
			B. 人件費 (②×人件費単価/千円)	0	1,346	3,028	3,028	3,028	
			事務事業に係る総費用(A+B) (千円)	0	2,646	5,163	5,188	5,163	
			(参考)人件費単価 (円/時間)	4,205	4,205	4,205	4,205	4,205	
	◆市民や議会などからの要望・意見(担当者の私見ではなく、実際に寄せられた意見・質問などを記入) 生産力豊かな魚津市沿岸のかつての藻場を復元して欲しい。	◆県内他市の実施状況	(把握している内容又は把握していない理由の記入欄)						
		● 把握している	永見市が同様の事業展開						
		○ 把握していない							

平成 22 年度 魚津市事務事業評価表 (平成 21 年度分に係る評価)

【2枚目】

【目的妥当性の評価】

1. 施策への直結度 (事務事業の施策の目指すがたに対する直結度 (対象・意図の密接度) とその理由説明)	
<input checked="" type="radio"/> 直結度大 <input type="radio"/> 直結度中 <input type="radio"/> 直結度小	説明 当事業は政策の根幹に関わる重要なものであり、水産振興のために積極的な取組を必要とするテーマである。
2. 市の関与の妥当性 (民間や他の機関でも実施可能な事務事業か)	
<input type="radio"/> 法令などにより市による実施が義務付けられている <input checked="" type="radio"/> 法令などによる義務付けはないが、公共性が非常に高く、民間 (市民・企業等) によるサービスの実施が不可能 (又は困難) ため、市による実施が妥当 <input type="radio"/> 民間でもサービス提供は可能だが、公共性が比較的高く、市による実施が妥当 <input type="radio"/> 市が実施しているが、関与の必要性は低く、今後は市の関与を縮小 (廃止) が妥当 <input type="radio"/> 既に目的を達成しているため、市の関与を廃止が妥当	
根拠法令等を記入	
3. 目的見直しの余地 (現状の【対象】と【意図】は適切か、また、見直す場合、その理由と内容を説明)	
なし	説明 長期的展望のもとに始めたばかりの事業であり、現状の対象と意図は適切であり、見直しの余地なし。持続性が最重要。

【有効性の評価】

4. 成果向上の余地 (成果の向上が今後どの程度見込めるか説明)	
なし	説明 成果向上の余地なし。事業の性格上、早急な結果は得にくいものであるが、粘り強い継続が重要。
5. 連携することで、今より効果が高まる可能性のある他の事務事業の有無 (どう効果が高まるか説明)	
なし	説明 漁場環境そのものを改善する取組であり、他に類似する事業はない。

【効率性の評価】

6. 事業費の削減の余地 (手段を工夫することで、事業費を削減できないか説明、できない理由も説明)	
なし	説明 国、県、と歩調を合わせた5ヵ年事業として事業費は設定されている。
7. 人件費の削減の余地 (今の業務時間を工夫して少なくできないか説明、できない理由も説明)	
なし	説明 活動グループに対する市の指導はこの事業遂行の生命線であり、人件費もある程度必要となるが、当該グループの資質の向上に伴い人件費は軽減される。しかしながら、当面は市職員の大きな指導が必要とされる。

【公平性の評価】

8. 受益者負担の適正化の余地 (過去の見直しや社会経済状況等から)	
特定受益者なし・負担なし 適正化の余地なし	説明 資源豊かな海 (魚津市沿岸) は市のかげがえのない財産である。
9. 本市の受益者負担の水準 (県内他市と比較し、今後のあり方について説明)	
<input type="radio"/> 高い <input checked="" type="radio"/> 平均 <input type="radio"/> 低い	説明 受益者の概念はあてはまらない。

【必要性の評価】

10. 社会的ニーズ (この事務事業にどれくらいのニーズがあるか)	
<input type="radio"/> 全国的又は広域的な課題であり、ニーズが非常に高い <input type="radio"/> 市固有の課題であり、なおかつ市民などのニーズが非常に高い <input checked="" type="radio"/> 比較的多くの市民などがニーズを感じている <input type="radio"/> 一部の市民などに、ニーズがある <input type="radio"/> 一部の市民などに、ニーズがあるが、それが減少しつつある <input type="radio"/> 目的はある程度達成されている <input type="radio"/> 上記のいずれにも該当しない	
11. 事務事業実施の緊急性	
<input checked="" type="radio"/> 緊急性が非常に高い <input type="radio"/> 緊急に解決しなければ重大な過失をもたらす <input type="radio"/> 市民などのニーズが急速に高まっている <input type="radio"/> 緊急性は低い、実施しなければ市民生活に影響が大きい <input type="radio"/> 緊急性が低く、実施しなくても市民サービスは低下しない	

★ 評価結果の総括と今後の方向性

(1) 評価結果の総括					
① 目的妥当性	<input checked="" type="radio"/> 適切 <input type="radio"/> 目的廃止又は再設定の余地あり				
② 有効性	<input checked="" type="radio"/> 適切 <input type="radio"/> 成果向上の余地あり				
③ 効率性	<input checked="" type="radio"/> 適切 <input type="radio"/> コスト削減の余地あり				
④ 公平性	<input checked="" type="radio"/> 適切 <input type="radio"/> 受益者負担の適正化の余地あり				
(2) 今後の事務事業の方向性					
<input checked="" type="radio"/> 現状のまま (又は計画どおり) 継続実施 <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>年度</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>		年度			
年度					
<input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止					
<input type="radio"/> 他の事務事業と統合又は連携 <input type="radio"/> 目的見直し <input type="radio"/> 事務事業のやり方改善					

★改革・改善案 (いつ、どのような改革・改善を、どういう手段で行うか)		コストと成果の方向性
実施予定時期	次年度 (平成23年度)	活動グループの資質向上に鋭意努める。 コストの方向性 維持
	中・長期的 (3~5年間)	活動グループの自主性を高める。 成果の方向性 維持

★課長総括評価 (一次評価)

漁場、沿岸資源を回復することは、漁業にとって喫緊の課題であり、推進すべきである。	二次評価の要否 【選択】
--	-----------------